



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 東芝プラントシステム株式会社
 コード番号 1983 URL <http://www.toshiba-tpsc.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 林 正孝

問合せ先責任者 (役職名) 業務部長 (氏名) 田邊 賢吾

TEL 045-500-7012

四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	151,936	11.8	10,668	6.4	11,065	4.6	7,555	6.4
29年3月期第3四半期	135,871	6.1	10,027	7.0	11,602	22.9	8,074	37.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 8,964百万円 (5.4%) 29年3月期第3四半期 9,481百万円 (53.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	77.55	
29年3月期第3四半期	82.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	238,130	138,450	58.0
29年3月期	244,407	133,288	54.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 138,121百万円 29年3月期 132,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		19.00		19.00	38.00
30年3月期		20.00			
30年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	3.6	19,800	12.6	20,000	4.7	13,500	5.5	138.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	97,656,888 株	29年3月期	97,656,888 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	244,699 株	29年3月期	243,675 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	97,412,635 株	29年3月期3Q	97,413,490 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	… 2 ページ
(2) 財政状態に関する説明	… 2 ページ
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	… 2 ページ
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	… 3 ページ
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	… 4 ページ
四半期連結損益計算書	… 4 ページ
第3四半期連結累計期間	
四半期連結包括利益計算書	… 5 ページ
第3四半期連結累計期間	
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	… 6 ページ
(継続企業の前提に関する注記)	… 6 ページ
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	… 6 ページ
(セグメント情報等)	… 6 ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な海外経済を背景に輸出の持ち直し、生産、設備投資の増加、企業収益、雇用環境等も改善するなど、景気は引き続き緩やかな回復基調にありました。

このような状況のもと、当社経営理念(※1)を通じ、「経営ビジョン」である「利益ある持続的成長を続けるエクセレントカンパニー」の実現に向け、2017年度中期経営計画において「①高収益と成長を着実に実現するビジネスモデルの構築」、「②BCM(※2)経営によるイノベーションの追求」、「③CSR経営の推進」を基本戦略として諸施策を積極的に推進しました。

この結果、受注高は1,977億7百万円、売上高は1,519億3千6百万円となりました。また、利益面につきましては、株式会社東芝の財務基盤の改善による東芝グループ内の一部取引にかかる貸倒引当金の見積りの見直しに伴い、貸倒引当金を8億8千7百万円取り崩したことにより利益が改善しましたが、完成済みの海外火力案件における採算悪化等の影響により、営業利益は106億6千8百万円、経常利益は110億6千5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は75億5千5百万円となりました。

※1 私たちは、社会インフラの事業を通して、お客様の望むサービス、製品、システムを提供し、従業員一人ひとりが輝く仕事で広く社会に貢献します。

※2 BCM(Balanced CIQ Management)とは、企業の経営ビジョンを実現するための、財務やその他経営状況、経営品質を含めバランスのとれた経営を行うための方法論です。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<発電システム部門>

受注高及び売上高ともに、国内外の火力発電設備等が増加しました。

<社会・産業システム部門>

受注高は、国内の一般産業向け等が増加しましたが、太陽光発電設備等が減少しました。売上高は、国内外の一般産業向け等が増加しました。

セグメント別の受注高及び売上高等

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年 同期比	売上高 (百万円)	前年 同期比	経常利益 (百万円)	前年 同期比
発電システム部門	130,977	36.4%	98,027	18.0%	7,009	△0.7%
社会・産業システム部門	66,729	△5.5%	53,908	2.1%	4,056	△10.7%
合計	197,707	18.7%	151,936	11.8%	11,065	△4.6%

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末から62億7千7百万円減少し、2,381億3千万円となりました。これは主に、現金預金の増加45億9千万円、未成工事支出金の増加146億8千6百万円があるものの、受取手形・完成工事未収入金等の減少263億1千6百万円によるものであります。

一方、当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から114億3千8百万円減少し、996億8千万円となりました。これは主に未成工事受入金の増加41億9千7百万円があるものの、支払手形・工事未払金等の減少40億7千5百万円、未払法人税等の減少40億2千2百万円、退職給付に係る負債の減少35億7百万円によるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から51億6千1百万円増加し、1,384億5千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月31日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	88,257	92,848
受取手形・完成工事未収入金等	103,411	77,094
電子記録債権	435	365
未成工事支出金	24,225	38,911
その他	9,806	10,372
貸倒引当金	△1,252	△504
流動資産合計	224,883	219,087
固定資産		
有形固定資産	7,097	7,151
無形固定資産	245	246
投資その他の資産		
その他	12,299	11,763
貸倒引当金	△119	△118
投資その他の資産合計	12,180	11,644
固定資産合計	19,523	19,042
資産合計	244,407	238,130
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	47,308	43,232
未払法人税等	4,672	649
未成工事受入金	13,181	17,379
役員賞与引当金	122	84
完成工事補償引当金	319	460
工事損失引当金	3	40
その他	14,088	9,909
流動負債合計	79,695	71,755
固定負債		
役員退職慰労引当金	36	42
退職給付に係る負債	30,946	27,439
資産除去債務	374	390
その他	65	52
固定負債合計	31,423	27,924
負債合計	111,118	99,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,876	11,876
資本剰余金	20,910	20,910
利益剰余金	104,455	108,211
自己株式	△165	△167
株主資本合計	137,076	140,830
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	14
繰延ヘッジ損益	△267	△155
為替換算調整勘定	99	431
退職給付に係る調整累計額	△3,929	△2,999
その他の包括利益累計額合計	△4,101	△2,709
非支配株主持分	313	328
純資産合計	133,288	138,450
負債純資産合計	244,407	238,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	135,871	151,936
売上原価	116,456	132,664
売上総利益	19,414	19,272
販売費及び一般管理費	9,386	8,603
営業利益	10,027	10,668
営業外収益		
受取利息	861	75
受取配当金	45	44
持分法による投資利益	23	16
保険配当金	112	91
その他	560	193
営業外収益合計	1,603	420
営業外費用		
固定資産処分損	11	14
その他	17	9
営業外費用合計	29	23
経常利益	11,602	11,065
税金等調整前四半期純利益	11,602	11,065
法人税、住民税及び事業税	2,196	1,867
法人税等調整額	1,332	1,645
法人税等合計	3,529	3,513
四半期純利益	8,073	7,552
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,074	7,555

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	8,073	7,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	17
繰延ヘッジ損益	185	112
為替換算調整勘定	139	351
退職給付に係る調整額	1,082	930
その他の包括利益合計	1,408	1,412
四半期包括利益	9,481	8,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,479	8,947
非支配株主に係る四半期包括利益	1	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	発電システム部門	社会・産業システム部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	83,065	52,805	135,871
セグメント間の内部売上高 又は振替高	443	134	577
計	83,508	52,939	136,448
セグメント利益	7,061	4,540	11,602

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,602
四半期連結損益計算書の経常利益	11,602

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	発電システム部門	社会・産業システム部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	98,027	53,908	151,936
セグメント間の内部売上高 又は振替高	394	109	504
計	98,422	54,018	152,440
セグメント利益	7,009	4,056	11,065

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,065
四半期連結損益計算書の経常利益	11,065